



センター内は土足厳禁。実習生の皆さんは、毎朝玄関で、自分のスリッパに履き替え、下足は下駄箱へ入れてから、教室に入ります。

# あじけん通信

2012 November  
VOL.59

株式会社ティビィシー国際外語学院  
企画・編集 澁谷 健司

秋らしく過ごし易い日々が続いたのも束の間、アジ研周辺には長く厳しい冬の足音が着実に近づいて来ています。毎朝の健康チェックでは、冬季だけインフルエンザ対策として行なわれる体温測定が再開しています。冬場恒例の入寮者への「湯たんぽ」の貸し出しも始まりました。実習生の皆さんへの声掛けも、いつしか「さむいねー、だいじょうぶ?」「かぜひかないでねー」が、挨拶代わりになっています。今のところ、風邪などで体調を崩す実習生はいませんが、「健康あつての日本語学習」をモットーに、実習生の皆さんが元気に学習に取り組めるよう、アジ研スタッフ一同万全の体制で今年の冬も乗り切っていきたいと考えております。

## あじけんスコープ VOL.4



左の写真をみてください。トイレのスリッパと押入れに入れられた布団です。日本人にとっては、一見当たり前の光景かもしれませんが、しかし、日本人にとって当たり前のことでも、文化や価値観の異なる外国人実習生の皆さんにとっては、「当たり前」に出来ないことも多いものです。そして、そのような習慣・価値観のギャップから思わぬミスコミュニケーションが生じることも珍しくありません。



そこで、アジ研では、実習生の皆さんが少しでも、日本的な習慣・マナーを身に付けられるように、細かい規則を設けて実践してもらっています。教室内の土足厳禁などもその一例です。このような知識習慣を身に付けることも、日本での技能実習を円滑に進めていくには欠かせない「コミュニケーションスキル」だと考えています。

## 今月の実習生



今月は、ホテルでのサービス業の技能習得を目指して中国から来日し、世界一とも言われている「日本の接客サービス」を自ら体験しようと、お金を出し合い、和風レストランで食事をした4人の実習生を紹介します。

私たちは「すき焼き」を食べました。店員さんは、作り方をゆっくり分かりやすい日本語で説明してくれて、感動しました(張樹春)

お店の人は動作・言葉遣いがとても丁寧で、気持ちよく食事が出来ました(張華林)

日本式の店内はとても綺麗で、温かい感じがして、いい気持ちで食事が出来ました(顔田田)

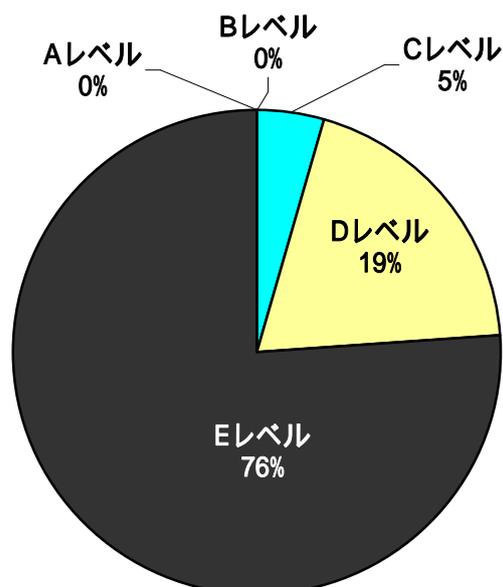
すき焼きは甘くて、最初に食べた時はちょっとビックリしました。でも、ご飯と良く合う料理でした。生卵も食べました!とてもおいしかったです。(譚舒恩)

劉樹春さん・張華林さん・顔田田さん・譚舒恩さん

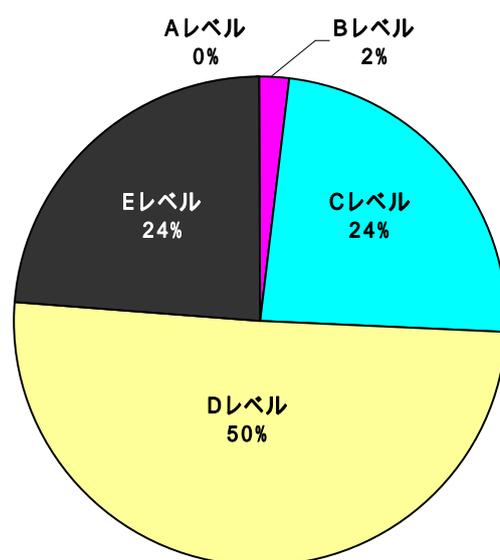
# あじけん流日本語授業

～ 会話テストの結果から見える実習生の会話力 ～

(日本語授業開始時)  
会話テスト 判定結果



(日本語授業修了時)  
会話テスト 判定結果



データは昨年(2011年)のテスト結果を基に算出されています。また、来日前の日本語学習期間が1年半～2年間と長いホテル実習生のデータは基礎データに含んでおりません。

今回の「あじけん流日本語授業」では、当校での日本講習開始時と修了時に行われ、「日本語講習報告書」の総合評価でもご報告させていただいている、会話テスト・会話テストの判定結果を基に、実習生の日本語会話力及び、本校の日本語教育方針についてお話しさせていただきたいと思っております。

データから分かる通り、来日したばかりの実習生の皆さんの76%はEレベル(基本的な指示や質問であっても、自然な速度の日本語で話しかけられると応じることが出来ないと言われるレベル)なのが実情です。しかし、この程度の会話力では、技能実習を安全かつ円滑に遂行するには十分な力とは言えません。

そこで当校では、全ての実習生の会話力をDレベル以上(基本的な指示や質問であれば、自然な速度の日本語で問いかけられてもスムーズに応じることが出来るレベル)に引き上げることが、実習生の皆さんが安全で効果的な技能実習を進めていく上で必要不可欠な力と考え、実際に日本語を「聞く」「話す」活動を出来るだけ多く取り入れたより実践的なコミュニケーション活動を重視した授業に日々取り組んでいます。

今後とも、会話テストにおいて、E判定を受ける実習生がゼロになることを目指して、講師・スタッフ一同、精一杯がんばってまいりますので、本校の日本語教育に対するご理解・ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

